

夢咲かせよう 立志の丘で

平成26年12月12日
No.31

国際教養大学 留学生 来校

12月5日(金)、異文化交流で国際教養大学から6名の留学生が本校を訪問しました。

アメリカ人男性2名、チェコ人男女1名、ルーマニア女性1名、そしてブルネイ女性1名です。

4時間目は、2年B組の英語で、自己紹介の後、6つのグループになり、1グループに留学生一人が入り、決められた時間が来たら次のグループに留学生が回る、というスタイルで行いました。生徒たちは、自分の好きな物や自分の部活動を紹介して、留学生とコミュニケーションを取っていました。



お昼は、3年生の教室に2人ずつ入って一緒に給食を食べました。



5時間目は2年A組、6時間目は1年生全体と交流しました。

6名の留学生は、休み時間も校長室に戻らず生徒と一緒に話していました。4時間目が終わってから3年生の学級に行き、そのまま給食を食べ、休み時間も3年生の学級で過ごし、5時間目が始まる少し前に職員室に来て、その足で2年A組へ。さすがに、5時間目が終わった時点で、校長室に休みに来ました。



最後は、多目的ホールで1年生全体と交流しました。漫画や音楽、好きな食べ物など、質問攻めにあつたそうです。日本の漫画はあまりよく知らないし、ミュージシャンも少ししか知らないの、ほとんど「I don't know」だったと言っていました。



全て終わってから校長室に戻ってきた6人の留学

生の感想は「疲れた・・・」でした。そして、1年生が元気すごかった、と話していました。

教養大学の留学生の皆さん、ありがとうございました。

2年B組 音楽 校内授業研究会

12月8日(月)、3校時目に2年B組で音楽の研究授業が行われました。

授業の学習課題は、ベートーヴェン作曲交響曲第5番運命の冒頭にある「ジャジャジャーン」で、「ジャジャジャーンの謎を解き明かせ!」でした。

最初に、アルト笛で、曲の最初を3グループに分かれて演奏しました。



指揮者が藤澤先生だと、皆さん上手に出ることができるのですが、生徒指揮になると戸惑います。なぜ、戸惑うのだろう、というところから、学習課題が生まれてきました。

アルト笛で運命を演奏できるなんて、とても素敵な一時間だと思いました。

授業が進むに連れて、「運命」の動機である「ジャジャジャジャ」の部分が「楽譜の中にどれだけあるのだろう」を全員で探すのが課題となりました。これはかなり難しく、時間もとても長かったです。最初に15個くらい、と答えたグループがありましたが、先生が「そんなに少ないかなあ?」と応え、生徒たちは更に、数えました。各グループからは、43個、45個、30個などおよそ30個から40個台までの数が出てきました。

そして、この「ジャジャジャジャ」が何度も出てくるのはなぜか、曲想についてもう一度考えてみると、などと考えを深め、自分なりの結論を出しました。



生徒の振り返りシートを見ると、「この音があることで、最後まで飽きずに聞くことができる」「曲には根拠があることが分かった」「曲の最後の方を

盛り上げるために、最初よりも楽器を多く使用している」などがありました。

運命交響曲の謎に没頭した一時間でした。

全校朝集会 「中間テストでがんばりたいこと」

12月9日(火)、全校朝集会がありテーマは「中間テストでがんばりたいこと」でした。各代表のスピーチをお届けします。



◇3年生

A組 大塚 美優さん

私の「中間テストに向けて」は、社会や理科の教科の暗記教科は、ワークを2周、3周して大事な語句をきちんと頭に入れることと、国数英は、何回解いても基本がきちんとなっていないといけないのでA問題を解いて、基礎から重点的にワークなどを進めてきました。実力テストはまだ答案が返ってきていないので、伸びているかどうか心配のまま、明日のテストに臨むのですが、全教科それぞれに10点、20点くらい伸びるように、明日もきちんとがんばりたいです。

B組 佐藤 瑞樹さん

僕が「中間テストでがんばりたいこと」は、英語と国語の点数アップです。いつも英語と国語では、足を引っ張っているのががんばりたいです。

C組 佐々木 萌さん

私が今回の中間テストで、特にがんばりたいことは数学です。いつも点数があまりよくないので、これまでワークなどをひたすら解いてがんばってきました。前回よりもよい点数を目指したいです。

◇2年生

A組 斎藤 響貴さん

僕が中間テストでがんばりたいことは、空欄をなしにして、少しでもよい点数にすることです。

B組 佐々木 瑞希さん

僕が中間テストに向けてがんばりたいことは、少しでも、分かるところを増やして空欄も0にすることです。できれば、500点を目指したいです。

◇1年生

A組 佐藤 寛太さん

僕が中間テストでがんばりたいことは、500点をねらって数学と理科の点数を100点にすることです。いつも理科と数学の点数が低いので、ワークなどをがんばってきたので、中間テストで実力を出したいです。

B組 高橋 楼磨さん

今までのテストで苦手な教科が分かったので、それを見直してテストでがんばっていきたいです。

感想発表が3名からありました。

◇3年A組 藤林 奏羽さん

みんなそれぞれいろんな思いをもってテストに向かっているのだと思いました。僕も、今回のテストは大事なテストになるのでしっかりがんばりたいです。

◇2年A組 寺山 莉奈さん

私は皆さんの発表を聞いて、目標をもっていいと思いました。私も中間テストでよい成績をとれるようがんばりたいです。

◇1年 菅原 翔哉さん

皆さんよい目標をもっていたので、僕も苦手なところをワークなどでがんばってよい点数を取れるようがんばりたいです。

3年生 面接1回目終わる

9月後半から、3年生77名と1日4~5名ずつ、校長室で面接をしてきました。すぐにできると思っていたのですが、学校祭、私の都合等あり、昨日やっと全員と1回目の面接を終えることができました。

今回は、「中学校を卒業してからの進学先の志願理由」「中学校3年間で一番がんばったこと」「中学校3年間で一番印象に残っている授業」「高校に入学したらがんばりたいこと」「趣味」「尊敬する人物とその理由」「最近気になっているニュースとその理由」などについて聞きました。

2回目は冬休み中から始まります。そのときは、学級活動の時間に面接のやり方、面接での留意点などを実技とともに、学習した後になります。姿勢や手の置き場所、目のやり場所など細かいことまで、学級で学習すると思います。

2回目以降は、進学理由が更に詳細になる生徒も例年おられます。私としては、上記の内容に加え、「最近読んでいる本のタイトルとその印象」「あなたにとって友情とはどんなものですか」「家族愛をどのように考えますか」など、道徳の時間等で学習した事柄についても聞いてみたいと思っています。

「最近読んだ本」を今回の面接で何人かに聞きました。読書の量がものすごい生徒がおりました。有川浩の自衛隊三部作「塩の街」「空の中」「海の底」を1冊につき一日で読破した生徒がいました。私は、最近、本校図書室から借りて「空の中」「海の底」をやっとの思いで、読み終わりました。どちらも自衛隊員が絡むお話ですが、若い男女の言葉のやりとり、交流など、主となるストーリーの他にいろいろな筋が入り交じっており、後半に進むほど面白みが増してくる小説です。でも、一日で読破とは、「感嘆」の一言で脱帽でした。

冬季休業中まであと3週間ですが、本校図書室には支援員の長澤先生の手によって整理された面白そうな本がたくさんあります。是非、図書室を利用して面白い世界を味わってほしいと思います。